

第5学年・学級活動『男女のかかわり』

- 1) 日 時 …………… 平成 年 月 日 () 校時
- 2) 場 所 …………… 校時 室
- 3) 単元名 …………… 『男女のかかわり』
- 4) ねらい …… 男女がよりよい人間関係を保つためには、相互に人格を認め合い、信頼と尊敬に基づき心の調節も大切であるという気持ちを育てる。
- 5) 主題設定の理由 …… 高学年になり、二次性徴が進むと、心理的には異性への関心が高まってくる。男女を意識しすぎて、男女の対立がみられたりすることも多いが、男子には性情報への関心が高くなり、女子には特定の男子へのあこがれも出てくる時期でもある。この時期に異性に対する心理的発達について学習し、男女の人間関係のあり方についてじっくり考えさせたいと思い、この主題を設定した。
- 6) 児童の実態 …… (省略)
- 7) 展 開

	指導事項	児童の活動と指導内容	留意点と資料
15分	○心の発達や変化	○体が成長すると、心も変化したり成長したりして、考え方や行動の仕方も変わってきたことについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・親、学校、友だちに対する意識 ・興味・関心や考え方 ・異性意識(性差、個人差) 	<ul style="list-style-type: none"> ・親からの協力資料をもとに作成した個人記録をもたせ、意識や言動の変化を明確化させる。 ・事前アンケートの結果を提示して考えさせる。 OHP①
10分	○学級の中での男女の関わり	クラスの男女の関わりは、うまくいっているのだろうか	<ul style="list-style-type: none"> ・身近に起きたできごとから話題を発展させていく。 OHP④
		○最近の男女の関係や異性の感じ方かどうか、具体的に話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・異性に対する不満、対立 ・ひやかし・からかい ・異性へのあこがれと接し方 	

15分	○心の発達や変化	○男女はそれぞれ特徴を持ちながらお互いが助け合って生活していくことが大切であり、そのためにどんなことに気をつけたらよいか話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習の場面 ・遊びの場面 ・係活動や当番活動の場面 ・相手の気持ち、立場の尊重 ・欲求のコントロール 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女の役割については、それぞれの良さを出し合って協力することをおさえる。 OHP⑤
5分	○学習のまとめ	○本時の学習を通して考えたことをノートに書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が今後努力していこうとすることを、理由をつけて具体的に書かせ、自覚をもたせる。

- 8) 評価・・・・・・・・・・ 心の成長を自覚し、よりよい人間関係を作ろうとする気持ちが高められたか。
- 9) 日常化への手立て・・・・ 日常の生活意識を向上させるために、学級会活動を通して具現化をはかりたい。
- 10) 資料・・・・・・・・・・
- ・学校図書「性教育指導資料」TP
 - ・岩崎書店 ころろ・からだいのちの絵本 「生きること愛すること」
- 11) 指導するにあたって・・・・
- 保健学習で「異性に対する関心」については学習するので、学級活動として扱う場合は、クラスの実態と結びつける形で扱うことが望ましい。
- また、保健学習後の発展的学習とした方が、脳のメカニズムにふれたりしなくてもよいので扱いやすいと考えられる。外国の男女のエチケットについて紹介し、異性との接し方やルールについて考えさせるのもよいだろう。児童の主体的活動をさせる工夫をすることが望ましい。